

**平成30年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河第二小学校長

平成30年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数と理科の3教科を実施しました。

国語と算数の2教科については、主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」に分けて実施しました。理科は、主として知識に関する問題と、主として活用に関する問題をあわせて実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	70.7%					○
国語B	54.7%					○
算数A	63.5%					○
算数B	51.5%					○
理科	60.3%					○

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	90.8%		○			
書くこと	73.8%					○
読むこと	74.0%			○		
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.0%					○

【考察】

- 「話すこと・聞くこと」では、相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すことをやや苦手としています。日常生活の場面を事例として扱い、相手の意図や知識を確認し、目印になるものを取り上げるなど、伝えたい目的を明確にして説明することができるように指導していきます。
- 「書くこと」では、自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考えることができます。さらに、出来事に変化を加えながら繰り返すような構成を考えることができるように指導していきます。
- 「読むこと」では、登場人物の心情について、情景描写をもとにとらえることをやや苦手としています。特に心に残った文を選び、その理由を説明することができるように指導していきます。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、日常生活で使われている慣用句の意味を理解して使ったり、書かれている内容や文を理解して漢字を正しく使ったりすることができます。さらに、相手や場面に応じて適切に敬語を使えるように指導していきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	64.6%					○
書くこと	45.6%					○
読むこと	50.8%					○

【考察】

- 「話すこと・聞くこと」では、話し合いにおける司会者の役割について、立場や意図を明確にしながらかし合うことが理解できています。さらに、話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べながら考えをまとめることができるように指導していきます。
- 「書くこと」では、目的や意図に応じ、比較して書くなど文章構成や表現を工夫して推薦する文章を書くことができます。さらに、内容の中心を明確にして詳しく書くことができるよう指導していきます。
- 「読むこと」では、最も心惹かれた一文とその理由を本文から引用することで、自分の考えを明確にしながらかしむことができます。さらに、目的に応じて複数の本や文章から必要な情報を見つけ、自分の考えに生かすことができるように指導していきます。

【算数A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%					○
量と測定	72.7%					○
図形	56.9%					○
数量関係	60.1%					○

【考察】

- 「数と計算」では、2つの数量の関係を理解し、数直線に表すことができている。さらに、乗法・除法の性質を使ったり、文章から問題場面を的確にとらえ、絵や図を用いたりして計算できるように指導していきます。
- 「量と測定」では、2つの量の比べ方や表し方が理解でき、角の大きさを正しく求めることができている。さらに、文章から問題場面を的確にとらえ、単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味が理解できるように指導していきます。
- 「図形」では、示された表現方法をもとに、空間の中にあるものの位置を表現することができる。さらに、円周率の意味をもとに表を用いながら、円周の長さが直径の長さに比例することなど、円周と直径の関係について理解できるように指導していきます。
- 「数量関係」では折れ線グラフの変化の特徴を読み取ることができている。さらに、問題場面の複数の情報から基準量と比較量を正しくとらえ、そこから割合と百分率を求めることができるように指導していきます。

【算数B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	58.4%					○
量と測定	52.4%					○
図形	59.9%					○
数量関係	45.1%					○

【考察】

- 「数と計算」では、示された条件や考えをもとに資料から必要な数値を選択し、問題解決の方法とその理由を図や式などを用いて表現することができている。さらに、日常生活の事象の中にある数量の関係を見いだす楽しさを実感させながら、言葉や式で表すことの良さを理解できるように指導していきます。
- 「量と測定」では、示された考え方を複数の場合に適用し、その結果を表に整理することで、条件に合う時間を適切に判断することがおおむねできています。さらに、日常生活の事象の中に含まれる複数の情報を、数量の関係に着目させ、表やグラフ、式などに表して考察し、適切に判断することができるように指導していきます。
- 「図形」では、敷き詰められた正三角形の模様の中に、条件に合った図形を見いだすことができます。さらに、1つの点の周りに集まった角の大きさの和が 360° になることを図形の構成要素や性質をもとに図や言葉などに表し、説明す

ることができるように指導していきます。

- 「数量関係」では、グラフの特徴をもとに、メモの情報と関連付けながら正しく解釈し、適切に判断したり、言葉で記述したりすることができています。さらに、日常生活の事象を表やグラフの特徴をもとに表現したり、考察したりすることができるように指導していきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
物質	59.8%					○
エネルギー	53.1%					○
生命	73.6%					○
地球	49.5%					○

【考察】

- 「物質」では、より妥当な考えをつくり出すために、複数の方法による実験結果をもとにした分析と考察から、一般化した規則性を導き出すことがおおむねできています。さらに、実験を通して、適切な実験技能を正確に身につけさせ、他者の考えをもとに振り返りや見直しを行い、実験結果の妥当性を吟味することで、自分の考えを改善できるように指導していきます。
- 「エネルギー」では、電流の流れ方について、その実験の結果から見通して実験を構想し、結果から多面的に考察することで、考えをより妥当なものに改善することができています。さらに、ものづくりを通して、学んだことを生活経験と結びつけ、自然や日常生活の中に生かすことができるように指導していきます。
- 「生命」では、骨と骨とのつなぎ目や人の腕が曲がる仕組みについて理解し、模型を使って説明することができています。さらに、調べた結果について、問題の意図に対応した視点で分析できるように指導していきます。
- 「地球」では、土地の浸食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想することはできていますが、より妥当な考えをつくり出すために、実験結果をもとに考察した内容を記述することが十分にできていません。問題に対して、自分と異なる予想や仮説から発想した解決方法で実験や観察を行い、多面的に考察することができるように指導していきます。

**平成30年度 全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河第二小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していきたいと思っております。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 普段（月～金）、授業以外にどのくらいの時間を学習していますか。（単位 %）

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	12.5%	16.8%	36.9%	23.8%	7.4%	2.5%
6	白二小	7.1%	15.3%	50.0%	22.4%	0.0%	5.1%

【考 察】

- 家庭学習の時間のめやすとしている高学年における60～90分の学習時間が身につけてきており、家庭学習に対する啓発活動の成果が現れています。中学校を見据えた家庭学習の習慣化をめざし、家庭学習の充実を図っていきます。
- 1時間未満の児童に対しては、個別に声をかけ、学年の目標時間の学習に取り組めるようにしていきます。家庭でも目標時間の学習に取り組めるよう、ご協力をお願いいたします。

2 自分で計画を立てて勉強をしていますか。（単位 %）

		している	どちらかといえ ばしている	あまり していない	全く していない
小	全 国	30.7%	36.9%	24.7%	7.6%
6	白二小	26.5%	33.7%	31.6%	8.2%

【考 察】

- 自分で計画を立てて学習に取り組むことができる児童の割合が全国平均と比べ低くなっています。本校では、自主学習を家庭学習の1つとして取り組ませせていますが、内容の充実が課題に挙げられます。
- 中学校に向け、自主学習の「家庭学習の手引き」を活用し、良い自主学習の取り組みを紹介しながら、自主的に計画を立てて、家庭での学習を進めることができるように、今後も指導していきます。

3 普段（月～金）授業以外に1日当たりどのくらいの時間読書をしますか。（単位％）

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小	全 国	7.8%	11.5%	21.8%	25.1%	14.9%	18.7%
6	白二小	9.2%	18.4%	26.5%	23.5%	7.1%	15.3%

【考 察】

- 高学年になると、スポーツ少年団や習い事等により、読書をする時間を確保することが難しくなりますが、30分以上を選択した児童の割合が全国平均を上回っています。今後も学校司書の活用を図ると共に、学校図書館の利用や朝の読書活動を充実させ、さらに読書量を増やしていけるようにしていきます。
- 「10分未満」「全くしない」を選択した児童については、ノーメディア活動の一環として、児童が読書をする時間を確保できるように、家庭でもご協力をお願いいたします。

4 算数の授業で公式やきまりを習うときそのわけを理解するようにしている。（単位％）

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	43.7%	36.7%	14.9%	4.5%
6	白二小	54.1%	31.6%	13.3%	1.0%

【考 察】

- 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている児童の割合が全国平均と比べ高くなっています。これは、授業の中で問題の解き方を考え、話し合っ解決する中から、公式やきまりを見つけていく学習を積み重ねてきている成果と考えられます。
- また、授業で学習したことを必ず振り返ってノートにまとめることを継続して実践しているからと考えます。さらに、全ての児童が公式やきまりの意味を理解できるように、授業での話し合いを充実させ、算数の問題に意欲的に取り組ませていきます。

5 理科の授業で、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしていますか。（単位％）

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	21.8%	32.7%	31.5%	13.8%
6	白二小	28.6%	28.6%	34.7%	8.2%

【考 察】

- 理科の授業で、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりすることができる児童の割合が全国平均と比べ高くなっています。これは、児童の理科に対する関心や学習意欲が高いことに加え、学習課題に対して見通しを持ち、協力して学習する中で考えを伝え合う学び合いによって、児童が主体的に学習することを継続して実践しているからと考えます。
- さらに今後は、全ての児童が積極的に説明したり発表したりすることに、達成感や喜びを感じることができるよう、児童に寄り添い、その思いを受けとめて様々な活動に取り組ませていきます。